



12

December

平成 29 年 No.105

発行：社会福祉法人 育和会

〒791-1201

愛媛県上浮穴郡久万高原町久万 1447

TEL:0892-21-0777

久万保育園

「楽しく食べる子どもに」

現代は、生活環境の変化・核家族化・母親の就労などで食事の質は、大きくかわってきました。家族がそろわず一人食が多い「孤食」それぞれ別なものを食べる「個食」、同じものばかり食べる「固食」など。

保育園の子どもたちは幸せです。毎日多くの友だちや保育士、時には、幼・小・中・高、大学生・地域の人たちと一緒に食事をする機会が数多くあります。いっしょに食べることで苦手なものへの挑戦、作ってくれた人への感謝の気持ち、食事マナーの理解、大人への信頼感、自己表現力などを育みます。「食」は人と人をつなぎます。子どもたちが「食」に関わりながら心身ともに成長し、社会性を身につけて、みんなと楽しく食べられるよう育てていくことは、「食を営む力」を形成していく基盤になると思います。 (山之内 慶子)



「愛着」



松山市児童クラブ支援員研修会に、NIKO NIKO 館スタッフも参加し「愛着形成」について学んでいます。先日は松山市役所に500名以上の参加者が集まり、驚きました。

愛着(=アタッチメント)とは? 「不快、見知らぬ場面などにおいて、乳幼児が一緒にいると安心できる対象(通常、親)に近づき、安心感を得る行動」のことです。愛着形成がしっかりできれば、自己肯定感につながり、集中力、好奇心、思いやりやピンチを切り抜ける力等の能力がついていきます。

我が家の飼い猫が、ただ太っているだけだと思っていたら(獣医さんも気づきませんでした!笑)夏のある日突然出産し、お母さん猫と子猫3匹の出産~子育てを毎日観察しています。猫の世界にも愛着はしっかりと存在し、母猫の母性やがんばり、健気さに感心し、子猫の成長に驚き、愛着形成の大切さを感じています。子育ては皆同じなのですね。

(NIKO NIKO 館長 白川 真理)

NIKO NIKO 館

NIKO NIKO 館では、NIKO NIKO クラブ(放課後児童健全育成事業)を行っています。放課後の時間…やりたいことをやりたいときにやりたいだけできる空間であること。子どもたちは、学校が終わり…家庭に帰るまでの放課後の時間をどのように過ごしているのでしょうか。たとえば、学校で遊ぶ子、NIKO NIKO 館で過ごす子、一人ひとり時間の使い方は違います。それぞれに、学習する時間、好きな遊びする時間、一人ひとりが家庭に帰るまで、自分だけの時間を段取りして、過ごしています。子どもたちが主体となり、日々考えながら過ごせる、そんな放課後の時間…子どもにとって魅力ある時間…心地良く過ごしてもらいたいものです。(大堀 純子)



よこまで飛ぶかな…ブーメラン



ヒミツの通路 キラキラ光る壁はうっとり



もういいかい～ まだだよ～ (かくれんぼ)



見てビックリ! 新聞ドーム



小まな出会い ほのぼのとした雰囲気



林業まつり newのれん 素敵でしょう

NIKO NIKO 館からの
お知らせ
お願い



今年度も継続して活動しているどんどこプロジェクト。人と人が繋がり合うことの素晴らしさを継続しながら、子ども一人ひとりが主役となり、地域とコミュニケーションを取ることで、自尊心や自己肯定感の成長に繋がっているようです。

今回は、第45番札所 岩屋寺さんのご協力により、四国88カ所を訪れるお遍路さんの休憩所を設け、全国の方をおもてなしの心でお迎えました。岩屋寺に到着後、まずお寺体験で写仏を行い、心を清めました。その後は、宮崎から札幌まで全国から来られるお遍路さんとお話したり、カフェのおもてなしをしたり、また帰られる時には、子ども達から、折り鶴やメッセージカードを手渡しました。子どもたち一人ひとりが心を込めておもてなしを行い、自分たちの力で活動できたことで今後の自信に繋がりました。これからも人と人の出会いを大切にしていきたいと思えます。



【どんどこプロジェクト】

協力 日本 NPO センター

一般財団法人 児童健全育成推進財団

協賛 一般財団法人 住友生命福祉文化財団

放課後子ども教室

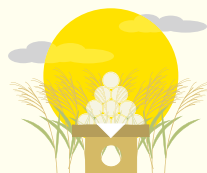
【学校・家庭・地域連携推進事業】

10月14日(土)

今回は、「花育キッズ お月見アレンジ」を行いました。

講師 渡部 千恵美さん

3色の花器の中から、自分のイメージに合ったものを選んで、お団子やお月様を連想させる黄色いボンボンの菊の花を主役に思い思いの長さにカット。秋の月夜に似合うオリジナルの作品が完成!お花を囲んで、お月見団子の試食会では、「うさぎうさぎ」のうたを口ずさんでお月様を思い浮かべながら、お団子を美味しく頂きました。



Happy House



ボールプール楽しいね

「おいかっこ」

「まてまて～しようか。」

お母さんが、お友達とおもちゃの取り合いになって、怒って泣いていた1歳7か月の男の子に声をかけられました。

「まてまて～」

泣いていた男の子は、お母さんが追いかけてくる姿を見ると、すぐに泣き止み手洗い場の方へ走り出しました。お母さんが追いかけてくるのを確かめるように、時々後ろを振り向きながら、うれしそうに走っていきます。男の子は、怒っていた気分もすっかり変わり、にこにこ満面の笑みです。すると、その様子を側で見ていた1歳8か月の女の子も男の子の後ろを追って走り出しました。今度は、お友達同士で追いかっこが始まりました。すぐに追いつくこともなく、一定の距離でひたすら二人が走り回って大はしゃぎです。その様子を見ていたお母さんたち、スタッフも思わず笑顔になります。

子ども同士、お母さんたち、スタッフ。人と人のかかわり合いの中で、子どもたちは、時にはけんかをしながらも遊びを見つけて楽しく過ごしています。

子どもたちの笑い声に、ほっこり心が温かくなりました。（水谷 伴美）



絵本の読み聞かせ



魔女まんとタッチ!

Happy House からの
お知らせ
お願い



つどいの広場と合同クリスマス会

日時：12月21日(木) 10:30～11:30

場所：Happy House

つどいの広場スタッフや利用して下さっているお母さん、お父さんの力を借りて、子どもたちも大人も楽しめるクリスマス会にしたいと思います。プレゼントもあります。ぜひ、お友達とお誘い合わせてご参加ください!

(ふれあい広場未入会の方は、参加費 100 円です。)

「向井さんありがとう!」

コーラスグループ「風」のメンバー向井多津子さんから、アイディアの贈りものをいただきました。

小さく折りたたんだ箱をさっと開いて使えます。向井さんのお心遣いに感謝します。



家庭教育支援 久万高原 Happy サポート

「ママのためのお話会」

火曜日の「Happy カフェ」では「ママのためのお話会」を開催しています。今年で10年目、心待ちにしている人も多いママ対象のお話会です。会場のハッピーハウスはレースのカーテンを下ろし、いつもとは違う雰囲気のママのためだけの空間になります。演劇の経験もある相原美紀先生は自分で語りながら涙してしまうほどの情感豊かな方です。語り寄り添うような橋本栄子先生のピアノの伴奏が参加者を物語の世界に引き込みます。

お話は、親子の感情や関わりをテーマにしたものが多く、子育て中のママたちにジーンと響く内容になっています。「お母さんになるってどんなこと」や「ほくとママのたからもの」の絵本では子どもの素直な気持ちが表現されていました。出産にまつわる実話を元にした「旦那へ」とか、子育てのしんどさから家出してしまうお母さんの気持ちを綴った「プチ家出」の朗読では、ほとんどの人が感極まって泣いていました。このような感情体験は子育てにも活かされ、思いやりのある心やさしいお子さんが育つことでしょう。

(今井 久美子)





月	火	水	木	金	土	日
<ul style="list-style-type: none"> ● 久万保育園 ● Happy House ● NIKONIKO 館 ● つどいの広場 ● 保健センター 				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31



つどいの
広場

久万高原町上黒岩 2913
月・水・金 9:00 ~ 15:00

久万高原町は、愛媛県の自治体として初めてウッドスタート宣言をしたそうです。林業の町・久万高原として、木育をすすめる活動が今後広がっていくことと思います。つどいの広場でも、子どものあそび環境の中に、木のおもちゃをたくさん取り入れていきたいと思っています。木のおもちゃは、子どもの五感に働きかけ、感性豊かな心の発達を促すことにつながります。子どもの育つ環境に木を取り入れることで、子どもにも大人にも木の良さを知ってもらいたいと思います。(村上 裕美)



「ウッドスタート宣言」

<http://www.kuma-mothergoosenokai.jp>



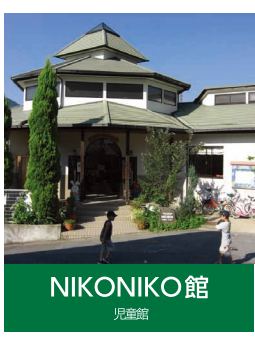
久万保育園

〒791-1201
愛媛県上浮穴郡久万高原町久万1447
TEL:0892-21-0777
FAX:0892-21-0772
hoiku@ikuwa.or.jp



Happy House
地域子育て支援センター

〒791-1201
愛媛県上浮穴郡久万高原町久万1444-5
TEL:0892-21-3192
FAX:0892-21-3191
sien@ikuwa.or.jp



NIKONIKO 館
児童館

〒791-1201
愛媛県上浮穴郡久万高原町久万1457-1
TEL:0892-21-2335
FAX:0892-21-3222
niko@ikuwa.or.jp



●協力者(10月1日~10月31日)(敬称略・順不同)
向井多津子
ご支援、ご協力いただきました。感謝申し上げます。